

大学と女子大学に新校舎が完成 (京田辺キャンパス)



夢 告 館 (大学)

文理融合型の新しい学部として注目される文化情報学部の拠点となる建物で、地上7階の高層棟と地上3階の低層棟に分かれている。竣工式は2005年2月2日。赤レンガと切妻の重要文化財に見られる同志社のモチーフを継承し、ラーネッド記念図書館前広場との景観の調和も図られている。



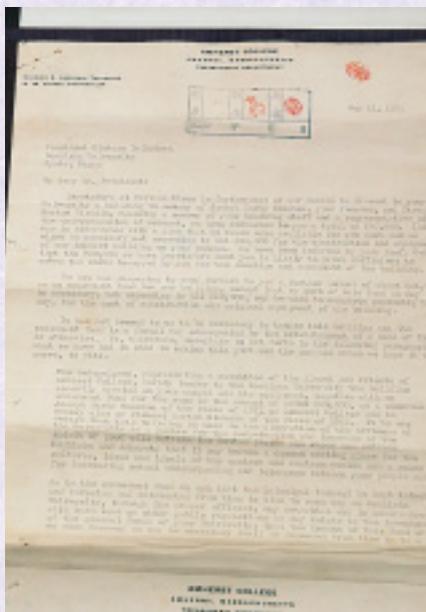
憩 水 館 (女子大学)

2005年3月3日、女子大学に新しい薬学の歴史を作る憩水館が誕生した。学校法人同志社として初の医療・薬学系学部である薬学部の実験・実習棟。高度な専門知識や技術を習得するための最新設備を揃えている。また、キャンパスに隣接した敷地に薬用植物園も整備されている。

Neesima Room 第27回企画展

「同志社とアーモスト」

同志社とアーモストとの交流は、1869年9月、同志社の創立者・新島襄がアーモスト大学に入学したことから始まり、今日まで密接に連携を取りながら深められてきた。企画展は2005年4月1日～8月31日の間、開催された。



1. アーモスト大学元級友からの追悼文

新島襄永眠直後の1890年6月24日、アーモスト大学1870年クラスによる「真情の書」。同志社大学役員、教員ならびに学生に贈る賛辞となっている。

2. アーモスト大学からの書簡 (1932年5月21日付)

アーモスト大学長ら3人の連名で、同志社アーモスト館建設資金を同志社に寄付する旨を伝える書簡。新島とS.B.ニコルズ（初代アーモスト大学学生代表）を記念する建物であること、同志社とアーモストの関係を発展させる場としたいこと、などが記されている。

3. 「同志社とアーモスト」展のメイン会場。



JR事故から3ヵ月 大学・女子大学の合同追悼記念礼拝を実施

7月25日、同志社新島記念講堂（京田辺キャンパス）において、4月25日に起こったJR福知山線脱線事故と、4月28日の磐越道バス横転事故で犠牲になった5人の追悼記念礼拝が、大学と女子大学の共催で執り行われた。（本文83頁参照）



1. 5人の遺影を掲げて行われた大学・女子大学合同の追悼記念礼拝

壇上の右側、左から大谷實総長、野本真也理事長、八田英二大学長、森田潤司女子大学長、森孝一大学神学部長、中村利男女子大学学芸学部教授。左側は司式の越川弘英大学キリスト教文化センター助教。



2. ほほ笑む5人の大きな遺影に献花する参列者。

礼拝に参列した約500人が次々に献花して別れを惜しむとともに、魂の平安を祈った。

これまでの平和や人権尊重などの社会活動を評価されて、「2005年ノーベル平和賞に女性1000人を」にノミネートされた野村かつ子さん。太宰治文学賞受賞作家で日本ペンクラブ理事、同電子文芸館を主宰しつつ、新しい出版形態「湖の本」を展開される秦 恒平さん。我が道を信じ歩み続けるお2人の登場です。(本文4頁～11頁)

野村

かつ子さん

1931年同志社女子専門学校
英文科卒業。41年大学文学部神
学科卒業。I O C U (国際消費
者機構) 名誉顧問。



「新たな問題への挑戦、その持続性こそ市民運動の力です」



秦

恒平さん

1958年大学文学部美学及び
芸術学専攻卒業。60年大学院文
学研究科修士課程退学。
作家、日本ペンクラブ理事。

「インターネットによる文学の広がりが、出版環境の健全化に繋がればいい」